

目 次

【本編】

- 1 南アルプス地域の環境保全等に対するJR東海の基本的考え
 - (1) 南アルプス地域の自然環境の重要性
 - (2) エネスコエコパークとの関連
 - (3) 環境保全等に向けたJR東海の基本的な考え方
- 2 影響の回避又は低減を踏まえた施設計画
- 3 工事に伴う自然環境への影響と対応
 - (1) 工事により一般的に想定される影響
 - (2) 静岡工区における基本的な対応
- 4 南アルプスの地域特性を踏まえた具体的な取組み
 - (1) トンネル湧水の低減対策
 - (2) 河川放流前の水質等の管理
 - (3) 河川や沢における水質や流量の測定計画
 - (4) 水生生物の調査
 - (5) イワナ類を中心とした食物連鎖図の作成と評価
 - (6) 河畔林の復元、発生土置き場の緑化計画
- 5 地下水位（計算上）予測値と生態系への影響
 - (1) 地下水位（計算上）予測値について
 - (2) 地下水位と植生の関係について
 - (3) 静岡市が実施した水収支解析結果（地下水位）を用いた検討について
 - (4) 地下水位低下が植生へ及ぼす影響評価について
 - (5) 静岡市が実施した水収支解析結果（土壌水分量）を用いた検討について
 - (6) 地下水位（計算上）予測値に対する対応について
- 6 代償措置
 - (1) 代償措置の考え方
 - (2) 植物の代償措置
 - (3) 魚類等の代償措置
 - (4) 生物多様性オフセットの考え方を参考にした代償措置
- 7 工事に伴う自然環境へのリスクと対応
 - (1) はじめに
 - (2) リスクへの対応に関する基本的な考え方
 - (3) 自然環境へのリスクの抽出

中央新幹線建設工事（静岡工区）の

自然環境の保全等に向けた取組み

【本編】

令和3年3月

東海旅客鉄道株式会社

- (4) 自然環境へのリスクの評価と基本的な対応
 - (5) 重要度の高いリスクへの対応
- 8 環境管理に関する体制及びデータの報告・公表
- (1) 環境管理に関する体制
 - (2) 測定・調査の実施及び結果の報告・公表
 - (3) 水生生物の調査

(別冊)

【資料編】

- ・資料 1 環境影響評価における生態系に係る調査、予測及び環境保全措置
- ・資料 2 工事施工ヤードの施工計画、環境保全計画
- ・資料 3 発生土置き場の計画
- ・資料 4 西保村近の流量予測結果
- ・資料 5 これまでに実施した水質の現地測定結果
- ・資料 6 工事工程ごとの処理設備の配置計画
- ・資料 7 トンネル湧水の放流に伴う水温変化の予測結果
- ・資料 8 生活用水の取水計画
- ・資料 9 生活排水放流に伴う河川の水質への影響の予測結果
- ・資料 10 各道の湖の型と工学的な成因
- ・資料 11 既往の調査結果による食物連鎖図(西保、夏季)
- ・資料 12 トンネル掘削工事に伴う状況等の流量の予測結果
- ・資料 13 これまでに実施した植物の移植・播種結果

※別冊【資料編】については、2月8日のものから資料3のみ内容を更新しているが、次回以降のご説明になるため、今回は添付しておりません。

【非公開版】

- ・令和元年度、令和2年度に実施した水生生物の確認調査結果
(令和2年度春季～秋季調査結果追加)

はじめに

中央新幹線(品川・名古屋間)の建設については、平成26年8月に補正後の環境影響評価書を公表し、これを踏まえた全国新幹線鉄道整備法の工事実施計画の認可を同年10月に受け、事業を実施している段階です。

静岡工区においては、工事実施段階における環境保全措置やモニタリングの内容等を深化化するため、静岡県が設置した中央新幹線環境保全連絡会議に出席し、静岡県と対話を重ねてきました。

最近の動きとして、令和元年9月30日に静岡県から「中央新幹線建設工事における大井川水系の水資源の確保及び自然環境の保全等に関する引き継ぎ対応を要する事項」(以下、「引き継ぎ対応を要する事項」という。)を受領しました。

当社は、この「引き継ぎ対応を要する事項」に対する見解について、令和元年10月から令和3年9月にかけて複数回にわたって静岡県と文書交換を行いました。

その後、静岡県と打合せを重ね、静岡県中央新幹線環境保全連絡会議生物多様性専門部会(以下、「生物多様性専門部会」という。)の各委員との意見交換を経て、静岡県や各委員のご意見を踏まええうえで、「引き継ぎ対応を要する事項」に対する再見解を基に、自然環境の保全等に対する当社の具体的な取組みを体系的に記載し、文書形式のわかりやすい構成とし、「中央新幹線建設工事(静岡工区)の自然環境の保全等に向けた取組み」としてとりまとめました。

この内容について、令和2年12月及び令和3年2月に生物多様性専門部会でご説明し、その後令和3年3月12日に『中央新幹線建設工事(静岡工区)の自然環境の保全等に向けた取組み』に対する意見書」を静岡県より受領しましたので、本資料はその内容を踏まえて見直しを図っております。

なお、「引き継ぎ対応を要する事項」の各項目に対しては、次頁のとおり本資料に全て盛り込んでいます。また、希少種の保護の観点から、重要な動植物の生息・生育位置の特定に繋がる情報等については、非公開としました。

※見直しを行った内容については、次々ページ以降に示しています。

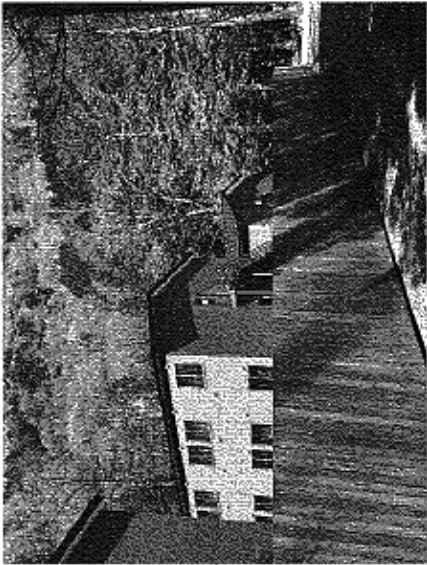


図 1.2 景観に配慮した仮設物の例（仮駅い）

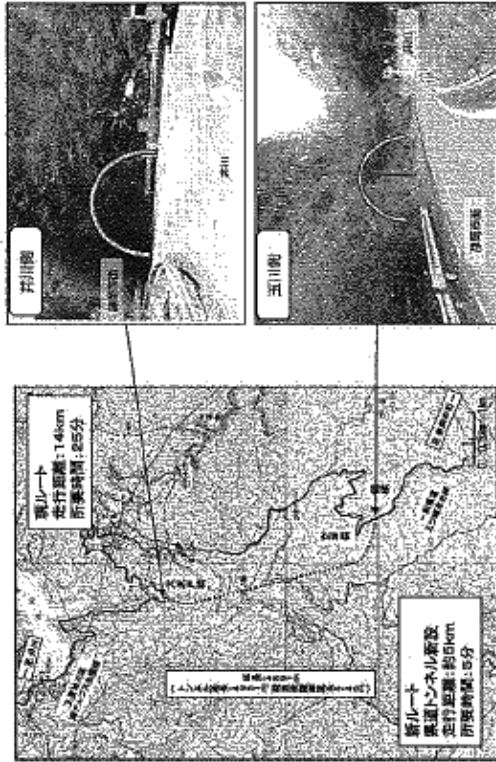


図 1.3 主要地方道南アルプス公園線の道陰トンネルの概要

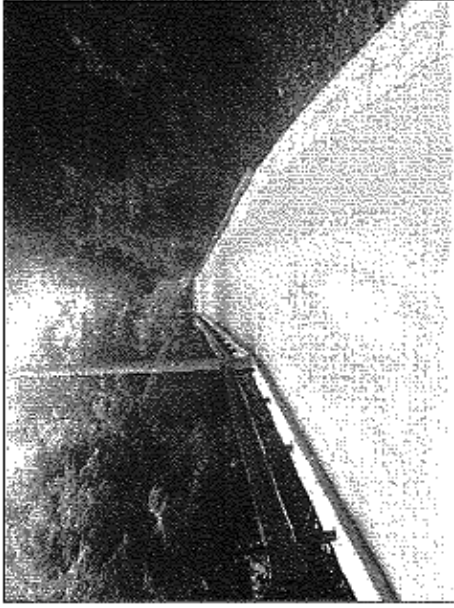


図 1.4 林道東保線の改良（舗装）



図 1.5 概略における工事用仮泊施設の敷設